

# 産業厚生常任委員会資料

令和2年9月3日

健康福祉部 高齢介護課

## 目 次

1. 外出自粓下における高齢者の健康状況及び支援について ······ P 1 ~ 8

## 外出自粛下における高齢者の健康状況及び支援について

令和 2 年 3 月に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者及び関係者の安全を考慮し、「多数の方」が出席・参加する市主催行事で「不急」のものは、中止または延期する方針を決定しました。

このことを受けて、かとうまちかど体操教室、通いの場などの活動が中止されました。活動中止により高齢者の外出機会が減少し、筋力や意欲の低下、フレイル状態への移行、認知症の進行、要介護状態への進展に加え、在宅勤務や自宅待機など、家族で一緒にいる時間が長くなり、家族関係や生活環境の変化から精神的な問題の発生が危惧されました。

このため、特に健康状態が気になる 80 歳以上の独居高齢者を対象に、地域包括支援センター職員が体調、睡眠、運動、困りごとなどの実態調査を電話により行い、継続支援につなげました。

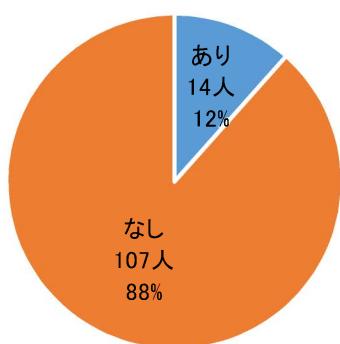
このほか、介護予防に関する普及啓発、緊急事態宣言解除後の事業再開状況について報告します。

### ◆地域包括支援センターによるアウトリーチ

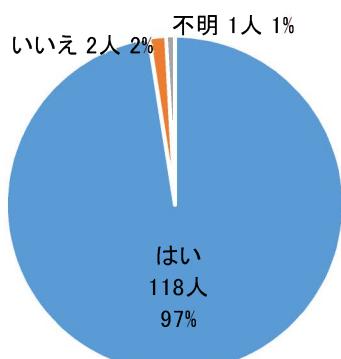
福祉票を基に 80 歳以上の独居高齢者に電話によるアウトリーチを実施。

- ・アウトリーチの実施期間：令和 2 年 5 月 18 日～6 月 23 日
- ・対象者：80 歳以上の独居高齢者
- ・対象人数：151 人（男性 22 人、女性 129 人）
- ・回答数：121 人
- ・未回答数：30 人（未回答の内訳：電話番号変更などにより不通、再三連絡したが連絡がつかない）
- ・実施者数（聞き取り者）：6 人（包括支援センター職員）
- ・聞き取り内容：7 項目
  - ①体調は変わりないか（受診しているか）、自粛による必要な受診抑制はないか
  - ②食事はとれているか（自炊できているか）
  - ③眠れているか
  - ④体を動かしているか（ケーブルテレビの体操番組を知っているか）
  - ⑤困ったことはないか
  - ⑥詐欺の電話はないか
  - ⑦家族との関りはあるか（安否確認などをしてもらっているか）

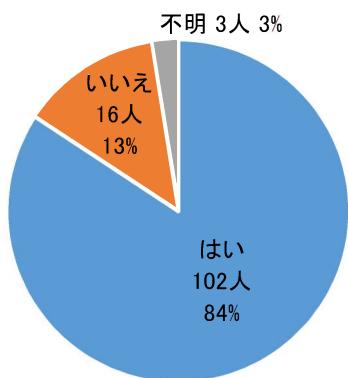
### ①体調は変わりないか



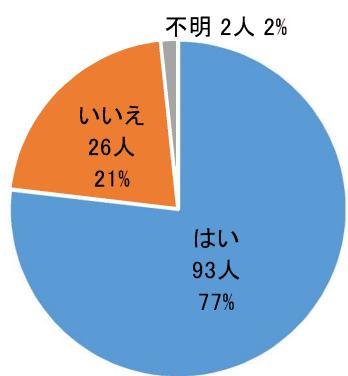
### ②食事はとれているか



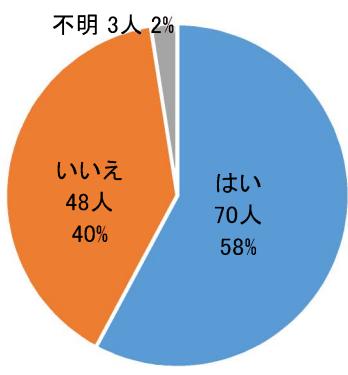
### ③眠れているか



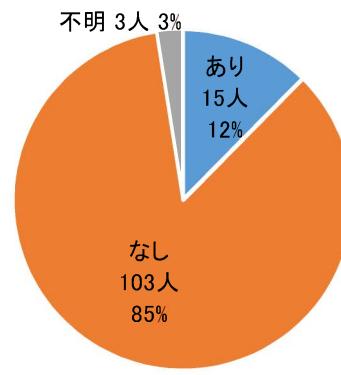
### ④-1 体を動かしているか



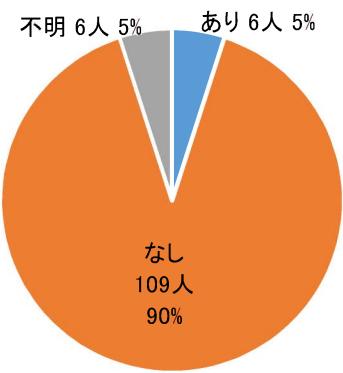
### ④-2 CATVの体操番組を知っているか



### ⑤困ったことはないか



## ⑥詐欺の電話はないか



## ⑦家族等の関わりはあるか



聞き取りの結果から、14～15人の体調不良、不眠、困ったことがある人がいましたが、病院の定期受診や家族の支援がある方を除いた、継続支援が必要と思われる方8人（滝野2人、社6人、東条0人）については、再度電話による詳細な聞き取りや自宅訪問を行い、生活状態の確認をしました。

### ◆フレイル予防の取組チラシの作成

自宅での体操継続の啓発を図る。

配布先

居宅介護事業所	200枚
サービス事業所	50枚
まちかど体操（4月中旬）	391枚
滝野地区移動販売	100枚
健康課（75歳以上マスク配布）	5,440枚
その他随時	

計 6,181枚

### ◆詐欺被害防止のチラシ作成

特別定額給付金の支給に伴う高齢者の詐欺被害防止を図る。

配布先

介護サービス事業所 16か所×20枚	320枚
滝野地区移動販売	100枚
健康課（75歳以上マスク配布）	5,440枚
その他（窓口）	

計 5,860枚

### ◆CATVによる介護予防普及啓発

- ① 昨年度から放送中の体操の時間（1日5回放送）に加え、令和2年6月1日から【発声による介護予防】の番組を放送中（市民出演）。

口周りの筋肉を鍛えることで、口腔機能の維持・向上、誤嚥性肺炎の予防、脳の活性化、認知症予防につながることを啓発しました。



### ② いきいきチャンネル

「フレイルの進行を予防するために」（令和2年6月放送）

フレイル予防のために、運動・栄養・交流・口腔において気をつけるポイントを啓発。

「かとう介護ファミリーサポートセンターについて～あなたも地域の高齢者のサポーターに～」（令和2年9月放送予定）

高齢者の生活の困りごとの実態調査について、高齢者の生活を支える活動かとう介護ファミリーサポートセンターについての紹介。

### ◆民生児童委員連合会定例会においての啓発

高齢者福祉サービス（福祉タクシー利用券、福祉票、緊急通報システムの紹介、感染症予防と熱中症予防の呼びかけ） 約200人（6月～7月）

### ◆緊急通報システムの設置（令和2年4月～7月末） 新規14台設置

7月末稼働台数274台

地域包括支援センター職員や民生委員からの紹介や本人・家族による申請により、独居や高齢者夫婦に対し緊急通報システムを設置し、高齢者の不安軽減に努めました。



### 利用実績（令和2年4月～7月末）

お元気コール（3か月に1回）343件、緊急通報7件、相談24件、救急車出動8件、誤報13件

### ◆福祉タクシー利用券交付事業

感染拡大防止のため、今年度は郵送による申請受付、交付を実施。

7月末時点 2,021件申請（高齢1,860 障害161）

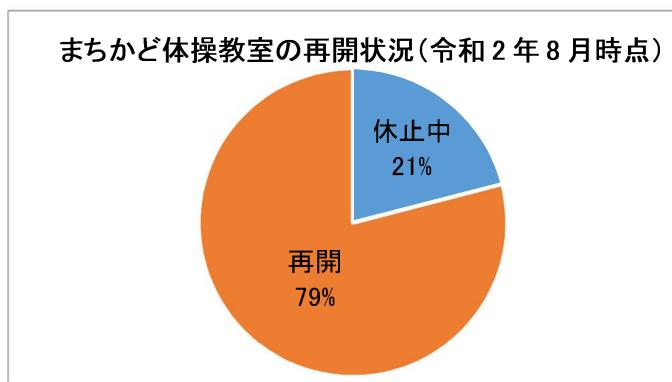
※令和元年度7月末時点 2,023件（高齢1,872 障害151）とほぼ申請数に変化はなかった。

### ◆かとうまちかど体操教室

62か所の体操教室リーダーに対しアンケートを実施。8月17日時点で、約2割（13か所）が体操を休止、約8割（49か所）が感染予防に留意して再開。

## アンケートで確認した内容

### ① 教室の再開状況



### ② 再開後の困りごと

- ・消毒作業などの感染対策が大変。(18か所)
- ・参加者同士の間隔の確保が難しい。(4か所)
- ・どの程度消毒すればいいかわからない。

### ③ 工夫して取り組んでいること

#### 消毒

- ・教室実施前後に消毒。
- ・入口にてアルコール消毒液で手指の消毒。
- ・消毒した錘を各自で袋に入れ管理している。
- ・輪番制で、当番2~3人が消毒作業をしている。

#### その他

- ・3密を考慮して、体操後のレクリエーションや茶話会は行っていない。
- ・体操後、コーヒータイムを設けているが、密にならないよう人ととの間隔をあけて実施している。

### ④ 参加者の中で気になる方について

- ・身体面 13人
- ・認知面 3人

参加者の中で気になる方がいる教室では、保健師から連絡を入れ状態確認をし、電話相談や訪問による対応を実施済み。今後も困りごとがあれば、相談窓口として対応する。

### ⑤ その他

- ・リーダー研修会 8月17日（月）実施 28名参加  
感染予防や熱中症予防の呼びかけ、アンケート集計結果について紹介、体操教室休止後の運動再開のポイント講話を実施。
- ・9月以降、地区の状況を確認の上、保健師や健康運動指導士による地区巡回を実施予定。  
感染予防対策や効果的な運動について啓発予定。

## ◆生活支援サポーター、介護予防サポーター養成講座

高齢者の生活の困りごとを支援する生活支援サポーター、まちかど体操教室の支援を行う介護予防サポーター養成講座を7月に実施。

○介護予防サポーター 参加者21人 修了8人

○生活支援サポーター 参加者9人 修了7人

- ・今年度は、滝野地域にて出前講座を実施する予定。



## ◆かとうふまねっと教室

身体状況や送迎などの問題でかとうまちかど体操教室への参加が難しい介護予防・生活支援サービス事業対象者及び要支援認定者の方を対象に「かとうふまねっと教室」を実施しています。転倒予防、認知症予防のために、50cm四方のマス目を配した大きな網（ネット）を床に敷き、規則に沿ったステップを使い、手拍子や歌いながらネットを踏まない歩行運動を実施しています。

### 【現在の状況】

3月から5月まで休止していましたが、6月からは、やしろショッピングパークBio（参加者17人）、南山活性化支援施設（ミナクル）（参加者9人）で実施中。

（加東市社会福祉協議会の事業）

## ◆介護ファミリーサポート事業（加東市社会福祉協議会に委託）

### 【事業概要】

援助してほしい高齢者（依頼会員）と援助活動をしたい方（協力会員）を結び、話し相手や家の中の整理、簡単な家事などの手伝いのほか、買い物代行（代わりに必要なものを買ってくる）を含めた支援（有償）を行っています。

（6月末まで）感染拡大防止のため、買い物、薬の受け取りの戸外の活動に限定して実施。調理、掃除の室内の活動は、利用者との調整により行いませんでした。ただし、調理については、惣菜などの買い物（代替）により対応しました。

（7月以降）感染予防に気をつけながら室内外の支援を再開しました。

### ＜利用状況＞

4月	5月	6月	7月	合計
4件	5件	3件	33件	45件

## ◆給食サービス

### 【事業概要】

70歳以上の人暮らし高齢者や高齢者世帯（2人で160歳以上）等に見守りと健康増進を図ることを目的にボランティアによる調理、配食サービスを実施しています。利用料1食300円。

### 【現在の状況】

感染拡大防止のため、ボランティアによる調理と配食を6月末まで休止し、その間、社協職員と市内飲食店（5店舗）の協力により事業は継続し見守りを行いました。7月から、従来のボランティアによる方法で再開しました。

＜利用状況＞月平均 660人

### ◆ふれあいいきいきサロン・喫茶

#### 【事業概要】

各地区・自治会で取り組まれている小地域福祉活動の一環として実施されています。地区的公民館等を活動場所として、住民がボランティアで運営されています。高齢者の外出の機会づくり、仲間づくりを目的としたサロンが多いですが、地域の居場所として喫茶形式で行われている地区や、子どもたちも参加した世代間交流を目的に取り組まれている地区もあります。

#### 【現在の状況】

自発的な活動であるため、各地区的判断により徐々に再開しています。

### ◆移送サービス

#### 【事業概要】

車いすを利用する外出が困難な高齢者・障害者に対し、通院の送迎をボランティアにより実施しています。

#### 【現在の状況】

感染拡大防止のため、ボランティアによる対応は6月末まで休止し、その間、社協職員の対応により事業を継続しました。7月から従来のボランティアによる方法で再開し、感染予防のため、使用後は車両内の消毒を実施しています。

＜利用状況＞4月～7月 25件

### ◆日常生活自立支援事業

#### 【事業概要】

判断能力に不安のある高齢者、知的障害者、精神障害者（※本人の利用意志が確認できる方）に対して、福祉サービスの利用援助、日常生活費の金銭管理等を行っています。

#### 【現在の状況】

休止せず実施し、生活支援員は訪問前に検温やマスク着用による感染予防を徹底しています。

＜利用の状況＞認知症高齢者6人、知的障害者2人、精神障害者4人

（7月末現在、計12人）